

### 私の意見

コムテックス取締役  
佐々木 紳



平成17年5月に施行された改正商品取引所法から一年が経過しました。現時点では、各取引員の法改正に際しての受け止め方はほぼ一致していると思われま

す。しかしながら、改正当初は必ずしもそうではなく、かなりの間温度差がありました。改正後時間が経過するにつれ、改正の重圧は取引員に大きく覆いかぶさってきてい

ます。今回の法改正の流れは、平成10年4月の改正が起点となり、その後平成16年5月に改正され、今日に至りました。取引員の管理部門を担当されている方は承知していることですが、今回の改正でいきなり厳しくな

ったわけではなく、その布

きことと解釈すべき時代に

飛躍するとは思いますが、しかしながら現状の取引形態では限界を感じます。ネット取引及び商品フ

ィンドの今後の成長は期待される

が、その姿ははつきりとは見えていないのが現状だと思われ

ます。相場の面白味を理解してく

## ピンチを救うのは対面営業

### 時間経過とともに改正の重圧

す。それも過去の「20枚ルール」をも凌ぐ厳しい内容です。

法改正と共に主務省の立ち入り検査も今まではまったくといっていいほど変わ

りませんでした。特に財務経理部門が徹底的に調べられて

いるのが特徴です。新法以降に立ち入り検査があった取引員は10数社ありますが、その検査結果は出ておりま

せん。

来ていると思われ

ます。対面営業の勧誘規則が厳しく、なかなか営業成績をあげていくことが難しい時

場になりました。株式市場と同様に、先物取引もネット取引が主流になるとの考

え方も増えてきましたが、私はそう思っておりません。仮の話としてカウンターパーティー形式の外国為替証拠金取引のように24時間取引が可能になれば大きく

の生き方を支えるお金をどう

う考え、どう準備するかにつ

いて、共に考え、見出すき

っかけになれば、このシン

ポジウムが開催される。

6月26日(月)午後6時30分

から同8時50分まで、千代田

放送会館ホール(地下鉄永田町

駅より徒歩3分)で開く。参加費無料で200名

## 団塊世代のための金融経済シンポジウム

### 6月26日、先物協会、東工取協賛

先物協会は、NPO法人の金融知力普及協会が主催する団塊の世代のための金融経済教育シンポジウム、

「自分流ライブスタイルを探して」に東京工業品取引所と協賛する。後援は経済産業省、金融庁、NHK、全国銀行協会、日本証券業協会

など。

2007年から一斉に定年を迎える団塊の世代は社会に未曾有の変化をもたら

すであろうと想定されている。彼らが受け取る退職金の総額は80兆円に達し、日本経済にも大きな影響を与えるといわれている。

団塊世代の人々が今後の生活や、それを支える家計をどのように組み立てていくかは、日本にとって大きな課題。そこで、第二の人生を迎えるに当たり、「それぞれがどのような生き方をみつけていくのか」、「それぞれ

飛躍するとは思いますが、しかしながら現状の取引形態では限界を感じます。ネット取引及び商品フ

ィンドの今後の成長は期待される

が、その姿ははつきりとは見えていないのが現状だと思われ

す。相場の面白味を理解してく

るお客さんを増やすこと

です。それ相応の実績をあげる

ことで、業界全体はアゲン

トの風が吹いておりませんが、

場の動きは貴金属、エネルギー

と関連してダイナミックな動き

を継続しており、その傾向は当

面の間接をどう思われ

より良い方向性が出るように

努力していきたいと思っ

ております。

ト、濱田隆道(多摩大学大学院

客員教授)、弘兼憲史(漫画家)。

全商連会長に 森實理事長

常務理事は若本氏

(社)全国商品取引所連合会は

5月31日の定時総会で、会長に

### 異色の2冊

## 「食いしん坊の食文化論」

## 「映画観抄―山男の映画館がよい」

グルメで知られる東京穀物商品取引所(東穀取)理事長の森實孝郎氏が処女出版。題して「食いしん坊の食文化論」(河出書房新社、1,575円)。

まず、地元「人形町のこ」に始まり、「下戸の美味礼賛」から「食を決める要因」と蘊蓄を傾ける。

さらに「京懐石」へと話は広がる。森實氏は年に一、二回、夫人と京都を訪ね、

たん熊、瓢亭、吉兆、あるいは高台寺辺りのいくつかの料亭をノンアルコールで

順繰りに楽しむ。「素材のよさ、完成された調理技術、人の心をそそる盛り付けとこれを支える皿鉢や椀の什器もさることながら、食全

体を流れるもてなしの心配りがこたえられない。

「庶民に愛される江戸の味」には老舗の数々が写真入りで登場、京と江戸の和菓子にも話題が及ぶ。「食文化の同一性と国際化」の章では、洋食を祖に乗せ

る。「食育」対談も含蓄に富む。巻末に森實氏の足跡を描く取組が、カラーグラビアが圧巻。

東穀取の前専務理事、高橋銃十郎さんが山男であることは、よく知られているが、かくれた映画通でもある。自ら経営に当たると館山

白百合学園から出版された「映画観抄―山男の映画館がよい」は最近8年間に見た211本の映画について論評した奇書である。高橋さんは以前「映画館からの風景―山男が魅せられて」を上梓しており、このペー

スだと2010年ころには

ンは「0」にし、シカゴ市場との関係

を強めることで指

数構成銘柄相互のヘッジ機能を充実させている。

新指数は主務省の認可を待つ、早ければ7月11日の07年7月限から適用となる予定。

## 関西商取

### コーヒー、コイン 指数の計算式変更

関西商品取引所は5月23日の理事会で、指数値の算出方法の変更を承認し、26日付で主務省に申請した。

コーヒー指数の計算は、これまで単純平均だったものを東穀アラビカを「9」、同ロブスタ「1」のウェイトを掛けて、取引量の多いアラビカとのヘッジや鞘取りの有用性を高めている。

国際穀物等指数(コイン75指数)も同様に東京コイン「25」、シカゴコイン「50」、シカゴミール「25」、市場流動性に陰りのある福岡コ

## 合併協議会を開き基本方針

### 中部商取・大阪商取

中部商品取引所と大阪商品取引所は5月29日「第1回合併協議会」を開催し、基本方針を決めた。

この基本方針では「中部商品取引所と大阪商品取引所は商品先物市場の真の発展を目指し、対等の精神を持って進めるとし、以下のことを決めた。

①ヘッジ機能や価格形成機能が十分発揮できる市場を目指す。

## 証言・戦後先物史

### 東京ゴム取引所盛衰記(4)

出来高が少ないこともあり、大分苦勞されたようですね。

間瀬 とにかく経費削減に努め、日本経済新聞から「ケチゴム」と書かれたことを今でも覚えています。開所時16人いた職員が10人になったこともあり

ました。立会場所は、げきたく、見張り、計算、記帳、相場掲示板の札掛けなどで、係員が最低5人は必要だったので、もうぎりぎりの状態でした。先に見切りをつけてやる人もいました。

## 統合、56年ごろに浮上

間瀬 単品の取引所では将来、やっつけいけないと常々、口にしていました。ただ、当時は繊維の出来高が少なく、統合してもメリックは少ないとも思っていたよう

です。最後は金取引所も含め、3取引所の統合になりました。

間瀬 鈴木さんは悩んで、かつて理事をしていた橋本栄一(元三井物産会長、檜山廣元(元紅会

長などと相談して、当時、初代理事で存命していたのはお二方くらいでした。結局、最後は統合を決断されました。

間瀬 当時、東京繊維商品取引所は土地、建物を持っていましたが、簿価が低く、東京繊維商品取引所を存続させるのが、税金対策上最もよかったです。当然と思



20周年記念祝典